

## 第5回 新潟市新たな交通システム導入検討委員会 議事録

日時:平成 23 年 4 月 12 日(火)15 時 00 分～16 時 45 分

場所:新潟市役所本館5階 全員協議会室

出席者 : 中村委員長, 大串委員, 佐野委員, 長谷川委員, 遠藤委員, 古館委員, 櫻井委員  
井上委員, 大矢委員, 西田委員, 古川委員, 井澤委員, 田中委員 (代理 清水委員)  
鈴木委員, 田村委員, 本間委員 (代理 佐藤委員), 吉田委員, 村尾氏  
計 18 人

事務局 : 新潟市都市政策部新交通推進課

|       |  |
|-------|--|
| 事務局   | 1. 開会  |
| 事務局   | 2. 第4回委員会の主な質問・意見と市の考え方について<br>(事務局より資料2, 3, 参考資料2に基づき説明)  |
|       | 3. 議事<br>(1) 新たな交通システムの導入シナリオについて<br>(事務局より資料4に基づき説明)<br>(2) 新たな交通システムに関する提言について<br>(事務局より資料5に基づき説明)   |
| 中村委員長 | BRT から LRT に向けて移行していくという考え方については, 資料4で説明させていただきました。また, 資料5を基に, 最終的には委員会からの提言ということで, 市長に提出いたします。特に前回の委員会でもいただいた意見については, 資料5裏面に, ①から⑧という形で掲載しています。今回は最終回ということですので, 事務局のご説明に対してのご質問や資料5に対してのご意見でもかまいませんので, ご質問・ご意見ありましたらお願いします。   |
| 佐野委員  | この委員会では, パターン BL になると思いますが, BRT から LRT への移行する際の事業採算性については検討されていますか。  |
| 事務局   | 現在はパターン BL の採算性については算出しておりません。   |
| 佐野委員  | パターン BL の事業採算性についての検討は必要だと思います。まず, BRT を早期に導入することによって, 今のバスよりもどれだけ早期に便益があるのか, 無駄になるコストが定量的に出ると思います。そして, 早期に発現する便益と無駄になるコストを比べて, 無駄になるコストが小さければ早期に移行すればよいと思いますし, 逆に無駄になるコストと早期導入による便益がそんなに変わらないのであれば, 少し待ってもよいというような話にもなると思いますので。BRT と LRT 移行する場合の費用便益といくことはあってもよいと思います。また, BRT から LRT へと移行する場合ですが, 基本的には4車線道路ですので, 移行時期に BRT を走らせながら LRT をつくるということが技術的に可能なのかについては不明だが, その場合は BRT を止めておくこととすると早期の導入効果というのは発現しないわけです。その辺の移行時期も考えて, 本当に B から L がよいのか, B のままがよいのか, それとも思いきって最初から LRT を入れたほうがいいのかの選択肢について, それぞれの便益の違いを明らかにしていけないと, 根拠としては弱いのではないかと思います。 |
| 事務局   | BRT から LRT への移行する際の無駄なコストについては, そこまで詳細に調査したわけではないので, 今後新潟市として方向性を判断する中で捉えていきたいと考   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>えております。<b>BRT</b>と<b>LRT</b>における整備する内容について、バスの停留所などの設置などの空間の確保という点からは大きな手戻りはないと感覚的には考えておりますが、ご指摘のとおり実際の方向性を判断する段階までに検討していきたいと考えております。また、<b>BRT</b>を走らせながら<b>LRT</b>をいかに導入するかといった<b>B</b>から<b>L</b>に移行する際の工程についてはまさにポイントになってくるとは思いますが、例えば柘谷小路であれば6車線あるなかで、うまく切り回ししながらできないことはないと考えていますが、これも併せてチェックしていきたいと考えております。</p>                                      |
| 中村委員長 | <p>前者の点に関しては、費用便益分析に時間軸を加えて行うことが重要と考えます。<b>BRT</b>に変えることのプラスな点と<b>LRT</b>に戻す時のマイナスな点についての検証を必ずして、早期導入の時期や見直しの時期がどのタイミングになるのかについて理論的な検討は必要だと思います。後者の点については、例えばシアトルで都心にバスの専用トンネルがあったのを<b>LRT</b>に変えた事例や、オタワでバスウェイを<b>LRT</b>に変えた事例など、海外で工夫をした事例がありますので、そのような先行事例でどのような苦勞をされているかを研究していただければと思います。</p>  |
| 古舘委員  | <p>走行レーンは第一、第二、第三のどこにするかについてはどうされるのでしょうか。</p>   |
| 事務局   | <p>現在想定しておりますのは、新たな交通システムの導入時に走行性を確保することと、既存交通への影響、特に右折が少なく左折が多いという新潟の特性を含めて判断しますと、新たな交通システムを導入する段階では第3レーンが一つの案として想定されると考えられます。</p>   |
| 古舘委員  | <p><b>LRT</b>への移行も容易だと思いますので、ぜひ第3レーンでお願いします。</p>  |
| 中村委員長 | <p>このことは資料5の中には記載されていませんが、記入しますか。</p>   |
| 事務局   | <p>レーンの話についても、<b>LRT</b>への移行可能性を考えたときに第3レーンが大きなポイントになってくるといふことであれば、付帯意見の中にレーン取りについてもそのようなことを踏まえて検証することと書き加えさせていただこうと思います。</p>   |
| 中村委員長 | <p>一般的には沿道側の状況、道路上が現在どのように使われているのかを見ますが、ただ現状の使い方が正しいのかどうかはわかりませんから、道路の運用が今どうなっていてどんな問題があって、将来どういう使い方をするのか。これは警察の方々からアドバイスをたくさん伺う必要がありますが、いろいろな条件が出てきます。そこをきちんと整理する必要がありますので、記述に際しては道路交通運用のあり方と一緒に検討するなど、沿道の方々や道路を利用する方への説明もできますからご配慮いただければと思います。</p>  |
| 鈴木委員  | <p>資料4の二枚目についてですが、条件と要件という表現が若干わかりづらいと思います。要件について架線レス<b>LRV</b>の技術的確立あるいは電気バスの普及状況などありますが、これらは考慮すべき事項として表現してもいいのではと思いました。また、資料5の付帯意見の③ですが、既存交通事業者と具体的に協議しながら進めていただけるという点がしっかり記述されているのでいいと思いますが、新潟交通さんは下越地方で広く路線をお持ちで、自主運行路線でも赤字で運行されている路線も結構あるので、新潟市で収益が上がっている分で赤字を埋め合わせるということもあると思います。新潟市と新潟市以外のところで利害が対立してしまうこともあるかと思うので、その辺についてご配慮をいただけるとありがたいと思います。</p> |
| 事務局   | <p>一点目、資料4の条件・要件についてですが、確かにわかりにくいですので、要</p>   |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>件のほう、考慮すべき事項という形で変えさせていただきたいと思います。また、資料5の方ですが、既存交通事業者に新潟交通さんはもちろん入っておりますし、乗り換えについて考えますと、JR 東日本さんも含めた形でいろいろな検討を重ねていく必要があると考えていますので、その意味で既存交通事業者とまとめさせていただきます。今後協議させていただきたいと考えております。</p>  |
| 中村委員長 | <p>二つ目のほうですが、広域的な交通を考えるとご意見は本当にそうだと思いますが、この委員会では追加でどこまで書けるかは難しいことと思います。また、付帯意見③、④、⑤と独立で書いてはありますが、それぞれ運営に関わってくところですので、現実的には配慮していくということでご理解いただければと思います。前半のところですが、資料4では条件・要件と書いてありますが、資料5では条件として一つにまとめてあるので、統一するのがいいと思います。</p>  |
| 事務局   | <p>資料4の方では、条件というのは移行に当たって必ずこれらを乗り越えないといけないという、必要条件という形で書かせていただきましたが、要件の項目についても大きな条件となってくる可能性がありますので、条件等という形でまとめさせていただきますと思います。</p>   |
| 長谷川委員 | <p>実際にこういったものが走るとき、ベビーカーや自転車を持ち込みたいといった利用者サイドに立って考えると、わかりやすさという部分が重要であると考えます。わかりやすさのユニバーサルデザインが大事だと思います。付帯意見にすでに記述はありますが、わかりやすさの点と実利用の視点からはあまり検討されていなかったところもあるので、それについての考え方もお示しいただければと思います。</p>  |
| 事務局   | <p>わかりやすさは重要なポイントです。例えば、付帯意見②で誰もが利用したくなる魅力的なシステムとありますが、そのところでわかりやすく魅力的なシステムというように記述させていただきたいと思います。また、実利用者の声を聞くことは非常に大事になってくると思います。これから検討する上でどういうふうに使いたいのかといったことを聞きながら検討していくことを考えています。付帯意見では⑧でそういった意味も含めて意向把握と書かせていただいておりますので、今後実利用者となる方々の声を聞きながら具体的な検討を進めていきたいと考えております。</p>  |
| 中村委員長 | <p>ここで具体例を出していただいたベビーカーや自転車の持込といった個別の話ですが、おっしゃりたいことは、ただいま事務局が答えたことと思います。具体的には②のところ、わかりやすく、使いやすい、といったフレーズが入るのがいいと思います。例えば、BRT ができたとして、できたらそれでおしまいではなく、その先もあります。仮にLRT ができたとしてもそれで終わりではない。つまり、新たな交通システムは市民の方々が支える乗り物ですから、市民の皆様との意見の交換は継続的にやっていかなければいけない。そうすると、付帯意見のところ、継続的に意見交換をしながらよりよいものにしていく、よくないところは直していくという活動を続けていくイメージがもう少し入ると、実際に使ってみて、例えばベビーカーが使えるとあってもまだ実際には段差があるとか、ドアがせっかく広いけれども実際は乗りにくいなど細かいところを継続的に直していくことが大切であり、せっかく入った乗り物を新潟市民の方々が使えるように育てていく、ということが伝わるように書き方を少し直していただければと思います。</p> |
| 櫻井委員  | <p>付帯意見のところ、どのシステムにせよ成功する鍵は③の利便性向上と運賃制度であると思います。そのあたりを実際の工事や導入空間とともにどのように進めていくのか、どのように並行して力を入れていくかが必要と考えます。</p>  |
| 中村委員長 | <p>③のところ、ぎっしりと書いてありますが、いくつも大事なことが書いてありま</p>  |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>す。新潟市の中心部へといらっしゃる方々が使いやすくなければいけないということや、そのために今のバス路線をどう調整していくか、特に乗継や運賃という視点が出されましたが、文面としては入っていますので考慮されていると思います。その辺は議事録のなかでご発言としてきちんと残しておこうと思います。</p>   |
| 大矢委員  | <p>この会は最初から BRT, LRT あるいはモノレールという乗り物について結論を出すという委員会であると思っております。実際にこの乗り物について、実利用者というのは市民が対象なのか、あるいは来街者、あるいは観光客など対象の利用者によって乗り物も違ってくるのではないかと思います。せっかく作るのであれば、それを目当てで来ていただけるものを作ってほしいなと思います。また、第3レーンでやってほしいという話がありましたが、第3レーンでそれなりの投資をするのであれば、BRT より最初から LRT を目指したほうが早く進むのではないかと考えたりします。</p>  |
| 事務局   | <p>まず一点目、新たな交通システムを入れていくときに、もちろん機能だけではなく、様々な魅力を発信していくものであるということは、大きな点であると認識しております。利用される方は市民や通勤・通学の方となるのはもちろんなのですが、来街者の方、観光客の方の視点でも魅力的なものになるようなシステムを入れていかなければいけないという前提で検討を進めていきたいと考えております。それから第3レーンなら初めから LRT という話ですけれども、LRT を入れるとなると大規模な車両基地や変電設備を設置するスペースが必要になります。それが例えば都心軸上で可能な部分があれば導入の可能性がないとは言い切れないのですけれども、なかなかそれを都心軸上に確保することは難しく、その展開でいくと新潟駅の連続立体交差事業が終わって新潟駅高架下で南北に通過できるようになった段階で、鳥屋野潟南部に設置するスペースができるのではないかとという前提で、最初に効果が発現できるという部分では BRT の方が先行する可能性があると考え、まず BRT を導入する方向で検討させていただいております。</p> |
| 中村委員長 | <p>最初の話にもありましたように、具体的のどのタイミングでどっちを入れるかということは、費用の詳細を詰める必要があるわけですから、そのところで具体的な数字が出てくればと思います。前半の話は聞いていて私すごくそうだと思います。少なくとも市民の方に使いよいのは当然なのですが、遠いところから来る方もいらっしゃるし、観光の方に利用してもらうなど色々な可能性がありますので、誰もがという視点はいくつか書いてありますけれども、市民の方は当然のこと、買い物の方、観光の方にもわかりやすく、使いやすくする必要があるので、ご回答いただければと思います。</p>  |
| 村尾氏   | <p>その他の③ですが、非常に重要なことが書いてあると思います。郊外とか全市のとかいう言い方があるのはいいと思いますが、今までは中央区を主体として考えていたような感じがします。全市的な視点という表現が出てきたのはよいことだと思います。全市には8区がありますから、中央区以外の7区にも交通を考えている方がいらっしゃいます。そのような方々と連携して、全市的な形で検討してほしいです。BRT で中央区にたくさんの方が入ってくるわけですから、区の中でしか考えていなかった方々が全市という形でもものを見ながら考えていくときに、新しい公共交通をいいものだと思うためには、ほかの7区からの意見をしっかりと聞くことができる体制とともに、既存交通事業者と連携を図りながら、BRT がしっかり根付く仕組みが必要だと思います。あと7つの区の視点もしっかりと入れていただけるといいと思います。</p>   |
| 事務局   | <p>新たな交通システムを考えていくときに、当然のことながら新たな交通システムだけでなく、全市的な交通体系を考えていく必要があります。新潟市では、各区内の生活交通、各区から中心部に向かうアクセス軸、そして新たな交通システムを検</p>  |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>討している中心部といった3つの交通システムが連携しあって初めて活かされるものと考えております。新たな交通システムの導入を考えていく際には、各区からの視点を入れながら、声を聞かせていただきながら、具体的な検討を進めていく必要があると考えております。</p>  |
| 村尾氏   | <p>中央区以外の7区の方のご意見を十分に伺わせていただいておりますが、全市的な視点に立ったとき、7区の方が悩んでいることは、自分の区だけでは解決できない問題があるということです。区が違うといっても同じ新潟市ではないかという見方ならば解決する問題が多く、全市的な視点で検討していただければよいと思います。</p>  |
| 櫻井委員  | <p>同感です。今回の会には郊外の方が参加されていないように感じました。中心街の交通システムの検討なのだから仕方ないのかとも思いましたけれど、中心街を使いやすくするには郊外の方が入ってきたときに使いやすくなるのがとても大事ですので、新たに委員会が立ち上がるとしたら、各区の人たちが使いやすくなるような、そのための意見を取り入れやすいような委員会を作っていただければと思っています。</p>  |
| 事務局   | <p>もともと中央区に限って、この新たな交通システムの導入を議論してきているとは考えていませんが、これから具体的な計画作りを進めていくなかでは、各区の皆様のご意見がしっかり反映されるようにいろいろと機会を設けたいと思います。もしくは私たちの方からお願いしながら、各区の意見を取り入れて、新潟市全体として機能するシステムができるように、関係課を含めて取り組んでいきたいと考えております。</p>  |
| 中村委員長 | <p>確かに柁谷小路や古町ばかりを見てしまう雰囲気になることもありますが、新潟市全体のことを考えてやっていくということで、今後具体的な検討を正しい形で進めていく上でも、それぞれの区の交通の課題を踏まえていくことが大事です。各区の交通を踏まえてという文言がどこかに入れることを検討していただければと思います。</p>   |
| 佐野委員  | <p>付帯意見の⑧でまちづくりとの関係が書かれているのですが、もう少し強く書かれてもいいかと思えます。ここには情報提供と書かれてはいますが、他部署と連携して沿線に公共施設の立地を進めますとか、もう少し踏み込まれてもいいかと思えます。</p>  |
| 事務局   | <p>まちづくりと連携した交通システムになるように取り組んでいくというように、もう少し大きな形でコメントを付帯意見に入れさせていただければと思います。</p>   |
| 中村委員長 | <p>この委員会の報告書ですから、この委員会で出てきていた発言から逸脱して書き込んでしまうと訳がわからなくなるとも思いますが、ただこの委員会で新潟のまちづくりに関して何度も出てきているキーワードがあると思えますので、そこを汲み取っていただく形でいいのかと思えます。ポイントとして、単にバスや電車をいれればいいということではないということと、行政の間での連携が必要であること、これから先に検討を具体化していく際に市民の方々のインタラクションをどのようにしていけばいいのかということ、先ほどあった持続的にするというお話は、読んでわかるようにしたほうがよいと思えます。</p> |
| 大串委員  | <p>付帯意見で内容が重複しているように思えます。例えば、①と②はユニバーサルデザインで利用者にとって安全で魅力的なというようにまとめることができると思えますし、③と⑦は全市的なネットワークを既存の交通事業者と検討しながら、現状の課題を整理して既存の公共交通をより有機的な連携に取り組んでいくともでき</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 事務局   | <p>ると思います。わかりにくくなるので、まとまった形にするのがよいと思います。</p> <p>今回更に追加してご意見を頂いておりますので、今ありましたとおりにエキスはここに表しておりますのでこれを組み換えていきたいと思ひます。</p>   |
| 中村委員長 | <p>①から⑧は色々な経緯から出てきているところがあります。この書き方ではご指摘の点もありますが、例えば①と②に関しては高齢者あるいは障がいをお持ちの方々、ベビーカーの方々の気持ちという部分と、使いたくなる魅力的なという部分は少し分けて書いたほうがよいと思ひます。ただ、分け切れていない記述をしっかりとさせたほうがよいかと思ひます。③と⑦に関しては、これから先に事業者とどのように調整していくことと、先回議論があったように今のバスをまずきちんと改善していく必要があるという話があります。先々な既存事業者とやっていくかという話と今あるバスをどうしていくかという話で、横断的と縦断的なイメージであると思ひます。市民の皆さんにも見ていただくものですから、初めてみる方にもわかりやすいように、もう少し行数があってもいいので、わかりやすくした方がいひかもしれません。</p>   |
| 井上委員  | <p>まず、資料5のルートについてですが、“優先整備区間とすべき”“最優先とすべき”とありますが、なぜここを優先とするのかをしっかりと書き込んでいただきたいと思ひます。先程から周辺の区への配慮という話もありましたが、ここをしっかりと書き込むことで各区の方々や経済界を含めて納得できるような提言になると思ひます。例えば、まちづくりの必要性や中心市街地の話がここに盛り込まれることにもなると思ひます。二点目ですが、資料4の2ページ目の矢印が書いてありますが、現在りゅーとリンクやバス専用レーンなどの取り組みを一生懸命にやっておりますが、これが相当程度機能した場合に高架下の南北を貫通するところまで延伸する可能性がないのではないか。BRTを入れなくてもピンクの矢印が伸びて一気にLRTという可能性もあるのではないか。レーンの右左、中央または端という差はあるにしても、そういった可能性も検討してみる必要はあるのではないかと思ひました。</p>                        |
| 中村委員長 | <p>二つ目の話は佐野先生のお話と同じ文脈ですので、この先の話については費用便益分析も含めてしっかりと行っていくと思ひます。一つ目の話について、事務局お願いします。</p>   |
| 事務局   | <p>ルートについてはあっさりとお書きさせていただいておりますが、理由については提言書本文の中でより詳細に書き加える形にさせていただければと思ひます。</p>  |
| 中村委員長 | <p>これは骨子なので結論だけ書いてありますが、本体の方では論理的に説明をしていただければと思ひます。</p>  |
| 中村委員長 | <p>ありがとうございました。骨子案についていくつもお意見いただきました。特に、最初の佐野先生のご意見をはじめとして、このような案が出ましたが、それらをしっかりと論理付けするための計算はまだ必要などころもあると思ひます。大事なことは市民の方々にきちんとこのような論理で考えていったが、こういうのはどうだろうかということが伝わるような骨子案と本文にしなければいけないと思ひます。その部分で骨子案の仕上げ作業がいるのと、それができた後の宿題もいくつか残っています。付帯意見につきましては、一言一句に対して様々な意見をいただき、より充実したものとなりました。少し説明の足りないところ、わかりにくいところを直していこうと思ひます。この骨子に本体が付いて提言書として、この委員会から市長へ提出していきたいと思ひます。いくつ細かいご意見をいただきまして文言を直すところがございますが、私と事務局でまとめさせていただきます、その上で委員の皆様へ文面で確認いただくという形によろしいでしよ</p> |

うか。もし何かありましたら事務局の方に随時ご連絡いただきまして、最終的に委員の合意のもとでまとめたいと思います。

#### 4. 閉会